

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナガセ

コード番号 9733 URL <http://www.toshin.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永瀬昭幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 内海昌男

TEL 0422-45-7011

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	8,233	15.4	△746	—	△768	—	△613	—
27年3月期第1四半期	7,137	2.9	△1,136	—	△1,393	—	△1,180	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △482百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △1,221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△64.73	—
27年3月期第1四半期	△124.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	60,614	12,464	20.6
27年3月期	63,609	13,894	21.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 12,464百万円 27年3月期 13,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,321	11.4	6,069	27.0	5,537	25.0	3,163	47.8	333.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	10,148,409 株	27年3月期	10,148,409 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	672,568 株	27年3月期	672,568 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	9,475,841 株	27年3月期1Q	9,502,371 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、中国をはじめとする新興国の成長鈍化やギリシャの債務問題など、国際経済のリスク要因を抱えつつも、政府・日銀の経済対策・金融政策や円安傾向を背景として企業業績は順調に改善し、株式市況も堅調に推移、全体として緩やかな回復が続いております。また、個人消費の面でも、円安進行による物価上昇などの不安要因はあるものの、雇用の改善や、消費税増税の影響一巡による消費マインドの向上などにより、消費支出が前年を上回り、明るさが見えつつあります。

当業界においては、「教育の再生」が我が国の最重要課題の一つとして位置づけられ、国民の関心も高まるなか、大学入試制度改革や、グローバル化に対応した英語教育の見直しなどが本格的に議論され、必要とされる教育内容も変化しつつあり、民間教育の担うべき責務はますます大きくなってまいります。各企業は、少子化による市場縮小に加え、生徒、父母が求める教育サービス水準の高まりと厳しい選別に直面しており、企業間競争は激しさを増しております。

このような環境の下、当社グループは、「独立自尊の社会・世界に貢献する人財の育成」という教育理念をグループ全体が共有し、その実現に取り組んでおります。そのため、「心・知・体」の教育を総合的に行える体制の構築を目指し、高校生部門（東進ハイスクール、東進衛星予備校、早稲田塾等）、小・中学生部門（四谷大塚等）、スイミングスクール部門（イトマンスイミングスクール）を中心に、各部門が提供するコンテンツの充実や受講環境整備などを進めてまいりました。さらに、小学生から高校生までを対象とした「全国統一テスト」の拡充や「米国立大学留学支援制度」など、当社の教育理念をさらに具体的な形とする取組みにも注力し、教育を取り巻く環境変化への対応を図っております。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、高校生部門を中心に概ね期初計画に沿って推移し、対前年同期1,095百万円の増加となる8,233百万円（前年同期比15.4%増）となりました。これは東京大学をはじめとする難関大学に対する高い合格実績を背景として、高校生部門で新年度の生徒募集が順調に進んだこと、及び前連結会計年度に株式会社早稲田塾を連結の範囲に含めたことに伴う増収によるものであります。

費用面では、引き続き校舎現場の指導力強化や基礎学力養成のためのシステム開発など、学力向上に焦点を絞った施策を進めると同時に、各部門において業務改善、効率化に取り組みました。また、生徒を取り巻く学習環境の変化を踏まえたコンテンツの開発や、既存校舎設備の整備など、将来に向けた取り組みも積極的に進め、費用全体では対前年同期705百万円の増加となる8,979百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

この結果、営業損失746百万円（対前年同期390百万円の改善）、経常損失768百万円（対前年同期625百万円の改善）、親会社株主に帰属する四半期純損失613百万円（対前年同期567百万円の改善）となりました。

当社グループでは営業収益の計上が生徒募集期に当たる第3、第4四半期に集中し、第1四半期から第2四半期にかけては、費用計上が先行する傾向があります。

(セグメント別の状況)

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は次のとおりです。

なお、セグメント利益（又は損失）は四半期連結損益計算書の営業損失に調整額を加えたものであります。

①高校生部門

当部門は、東進ハイスクール、東進衛星予備校、早稲田塾等で、主に高校生を対象とした教育事業を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は4,897百万円（前年同期比26.2%増）、セグメント利益は248百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

②小・中学生部門

当部門は、四谷大塚、東進スクール、東進育英舎等で、主に小学生、中学生を対象とした教育事業を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,360百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント損失は313百万円（対前年同期193百万円の改善）となりました。

③スイミングスクール部門

当部門は、イトマンスイミングスクールとして、主に水泳教室、フィットネスクラブの運営を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,709百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は243百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

④ビジネススクール部門

当部門は、東進ビジネススクール等で、主に大学生、社会人を対象とした教育事業を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は168百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント損失は21百万円（対前年同期8百万円の改善）となりました。

⑤その他部門

その他部門は、出版事業部門、こども英語塾部門、国際事業部門を含んでおります。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は396百万円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産が2,995百万円減少し、60,614百万円に、純資産が1,430百万円減少して、12,464百万円となっております。総資産の異動は、流動資産の減少3,273百万円が主な要因であります。これは、生徒募集期に発生した売掛金が当第1四半期連結会計期間中、順調に回収された一方で、配当金や法人税等の支払などがあり、現金及び預金が2,774百万円、売掛金が1,220百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、純資産の減少は、配当金947百万円、および親会社株主に帰属する四半期純損失613百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

教育業界は、引き続き厳しい経営環境に置かれておりますが、当社グループにおいては、高校生部門を中心に生徒数は増加傾向にあり、夏期特別招待講習などの生徒募集活動も堅調に推移しております。

この状況を踏まえ、平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成27年4月30日付「平成27年3月期 決算短信」）の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,381,030	17,606,258
受取手形及び売掛金	2,515,964	1,295,512
商品及び製品	353,684	505,432
その他のたな卸資産	159,462	171,033
前払費用	1,050,252	1,292,156
繰延税金資産	374,838	624,092
その他	450,581	518,799
貸倒引当金	△20,994	△22,358
流動資産合計	25,264,819	21,990,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,665,600	8,564,442
工具、器具及び備品（純額）	777,065	811,127
土地	13,833,545	13,833,545
建設仮勘定	222,887	487,127
その他（純額）	277,963	257,502
有形固定資産合計	23,777,063	23,953,745
無形固定資産		
その他	2,055,734	2,038,257
無形固定資産合計	2,055,734	2,038,257
投資その他の資産		
投資有価証券	4,991,156	5,273,486
長期貸付金	629,549	604,563
長期前払費用	829,077	813,122
敷金及び保証金	5,013,302	4,950,799
繰延税金資産	743,405	689,308
その他	413,185	408,143
貸倒引当金	△107,852	△108,266
投資その他の資産合計	12,511,824	12,631,157
固定資産合計	38,344,622	38,623,161
資産合計	63,609,441	60,614,089

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	444,584	397,517
短期借入金	537,100	2,283,340
未払金	3,441,570	3,268,648
未払法人税等	1,617,245	171,929
前受金	2,859,617	4,278,074
預り金	3,032,326	1,072,439
賞与引当金	454,781	655,795
役員賞与引当金	65,630	14,315
返品調整引当金	32,100	31,479
その他	3,154,037	2,514,008
流動負債合計	15,638,993	14,687,548
固定負債		
社債	22,462,100	22,158,400
長期借入金	7,984,390	7,703,875
役員退職慰労引当金	478,459	478,909
退職給付に係る負債	1,553,277	1,535,914
資産除去債務	1,178,700	1,186,875
その他	418,803	397,988
固定負債合計	34,075,730	33,461,963
負債合計	49,714,723	48,149,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,138,138	2,138,138
資本剰余金	2,141,151	2,141,151
利益剰余金	10,825,913	9,264,924
自己株式	△1,569,890	△1,569,890
株主資本合計	13,535,313	11,974,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,788	315,561
為替換算調整勘定	142,043	160,760
退職給付に係る調整累計額	18,573	13,929
その他の包括利益累計額合計	359,405	490,252
純資産合計	13,894,718	12,464,577
負債純資産合計	63,609,441	60,614,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業収益	7,137,590	8,233,444
営業原価	6,056,393	6,689,971
営業総利益	1,081,196	1,543,473
販売費及び一般管理費	2,217,882	2,289,932
営業損失(△)	△1,136,685	△746,459
営業外収益		
受取利息	4,368	3,859
受取配当金	39,849	40,095
受取賃貸料	3,519	3,820
貸倒引当金戻入額	4,828	2,602
為替差益	-	48,504
その他	18,287	23,347
営業外収益合計	70,853	122,229
営業外費用		
支払利息	96,066	100,354
社債発行費	149,130	-
その他	82,602	43,475
営業外費用合計	327,799	143,829
経常損失(△)	△1,393,631	△768,059
特別利益		
投資有価証券売却益	-	22,409
移転補償金	-	57,750
特別利益合計	-	80,160
特別損失		
固定資産処分損	24,414	3,690
投資有価証券評価損	198,383	-
特別損失合計	222,797	3,690
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,616,428	△691,589
法人税、住民税及び事業税	138,780	160,044
法人税等調整額	△574,769	△238,229
法人税等合計	△435,988	△78,185
四半期純損失(△)	△1,180,440	△613,404
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,180,440	△613,404

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,180,440	△613,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,839	116,772
為替換算調整勘定	△6,905	18,717
退職給付に係る調整額	△5,358	△4,643
その他の包括利益合計	△41,104	130,847
四半期包括利益	△1,221,544	△482,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,221,544	△482,557

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	高校生 部門	小・中学生 部門	スイミング スクール 部門	ビジネス スクール 部門	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,764,860	1,344,678	1,695,165	153,849	6,958,553	179,036	7,137,590	—	7,137,590
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	115,411	10,668	—	—	126,080	161,413	287,493	△287,493	—
計	3,880,271	1,355,347	1,695,165	153,849	7,084,634	340,449	7,425,084	△287,493	7,137,590
セグメント利益 又は損失 (△)	205,526	△507,465	206,483	△29,724	△125,180	10,794	△114,385	△1,022,299	△1,136,685

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,022,299千円には、セグメント間取引消去3,700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,026,000千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	高校生 部門	小・中学生 部門	スイミング スクール 部門	ビジネス スクール 部門	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,785,693	1,344,319	1,709,268	168,809	8,008,090	225,354	8,233,444	—	8,233,444
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	111,655	16,264	—	—	127,920	171,641	299,562	△299,562	—
計	4,897,349	1,360,584	1,709,268	168,809	8,136,010	396,996	8,533,007	△299,562	8,233,444
セグメント利益 又は損失 (△)	248,374	△313,780	243,861	△21,289	157,166	11,490	168,656	△915,116	△746,459

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△915,116千円には、セグメント間取引消去△13,702千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△901,413千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。